

特別支援学校自立教科（理療）専門問題例

例 1 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 踵立方関節と距舟関節の2つの関節が合わさってできる関節を何というか。
- (2) 脛骨神経に支配され、膝関節の屈曲と足の底屈を行う筋は何か。
- (3) 心臓において血液が心室から心房への逆流を防ぐ弁のうち、特に左の房室弁を何というか。2つの名称で答えなさい。
- (4) 食道には、狭窄部が3つあるが、起始部と横隔膜貫通部の間にある狭窄部を何というか。

例 2 パーキンソン病について (a) ～ (j) にあてはまる語句を《語群》から選び、記号で答えなさい。

パーキンソン病は (a) 期に発症し、(b) に進行する神経変性疾患である。わが国での有病率は、人口の高齢化によって (c) している。

神経病理学的には、(d) のメラニン含有細胞の変性と残存細胞内に (e) が出現する。その結果として (f) の運動統御機構の破綻を生じて (g)、(h)、寡動・無動など特有の運動障害を発症し、(i) 顔貌を呈する。治療の目的は病状を緩和し、ADLを可能な限り良好に維持することであり、(j) などの薬物による治療が主体である。

《語群》

ア. 急速	イ. 緩徐	ウ. 大脳皮質	エ. 基底核
オ. 黒質	カ. 赤核	キ. 老人斑	ク. 振戦
ケ. 意図振戦	コ. レビー小体	サ. ステロイド剤	シ. 減少
ス. 筋痙縮	セ. 増加	ソ. L-ドーパ	タ. 筋固縮
チ. 仮面様	ツ. 高齢	テ. 中高年	ト. 満月様

(H27)

例 3 次の(1)～(3)の文章中にある①～⑤の選択肢から適切なものを選び○印をつけ、文章を完成させなさい。

- (1) 慢性閉塞性呼吸器障害 (COPD) は、① (若年者 ・ 壮年者 ・ 老年者) に多く、臨床検査では、② (%肺活量 ・ 1秒率 ・ 酸素分圧) が低下する。
- (2) シェーグレン症候群は、女性に多い自己免疫疾患で、血液検査所見として、③ (γ -グロブリン ・ アルブミン ・ フィブリノゲン) の増加が特徴的である。
- (3) 心房細動は、④ (脳血栓症 ・ 脳塞栓症 ・ 脳出血) の発症の原因となり、⑤ (バセドウ病 ・ アジソン病 ・ シモンズ病) に出現する。

例 4 鶏歩について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 歩行の特徴を説明しなさい。
 - (2) 疑われる疾患を2つあげなさい。
- (H27)

例 5 脚気八処の穴をあげなさい。

例 6 五臓に应ずる刺法のうち、次にあげる刺法はどの臓に应じるかを答えなさい。

豹文刺		関 刺	
合谷刺		半 刺	

例 7 難経六十九難を用いた補瀉について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 虚証に対して相生関係により補法を施すときの選穴を書きなさい。

肝 虚	自 經		母 經	
脾 虚	自 經		母 經	
肺 虚	自 經		母 經	

(2) 虚証に対して相剋関係を用いて瀉法を施すときの選穴を書きなさい。

小腸虚	自 經		剋 經	
膀胱虚	自 經		剋 經	
胃 虚	自 經		剋 經	

例 8 次の文は、特別支援学校高等部学習指導要領「第 2 章 各教科 第 1 節 第 4 款 理療」における「第 2 各科目〔理療情報活用〕 3 内容の取扱い」である。

(a) ～ (j) にあてはまる語句を《語群》から選び、記号で答えなさい。

3 内容の取扱い

(1) 内容の構成及びその取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

ア 理療に関する題材やデータなどを用いた実習を通して、理療の分野において情報を (a) に活用できるように指導すること。また、他の理療に関する (b) と関連付けて指導すること。

(2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。

ア 内容の (1) (情報機器と情報の活用) については、情報化の進展が (c) や社会に及ぼす影響、情報の意義や役割及び情報機器の活用分野の概要を扱うとともに、情報通信ネットワークを活用した情報の収集、処理、(d) 及び発信について (e) に扱うこと。また、ネット犯罪など利用上の (f) についても触れること。

イ 内容の (2) (情報モラルとセキュリティ) については、個人のプライバシーや著作権など知的 (g) の保護、収集した情報の管理、発信する情報に対する (h) など情報モラル及び情報通信ネットワークシステムにおけるセキュリティ管理の重要性について扱うこと。

ウ 内容の (3) (理療と情報機器の活用) については、理療の現場における情報の意義や役割、コンピュータや医療用電子機器の活用の概要について扱うこと。ア (理療における情報機器活用の目的と意義) については、医療用電子機器など測定機器の (i) について扱うこと。イ (個人情報管理) については、理療の現場における個人情報の管理の実際と重要性について扱うこと。ウ (理療の現場における情報システム) については、理療援助を適切に行うための情報システムの活用を (j) に扱うこと。

《語群》

ア. リスク	イ. 興味	ウ. 具体的	エ. 財産	オ. 内容
カ. 主観的	キ. 使用	ク. 客観的	ケ. 検査	コ. 生活
サ. 留意点	シ. 詳細	ス. 体験的	セ. 分析	ソ. 科学
タ. 主体的	チ. 義務	ツ. 各科目	テ. 実習	ト. 責任

(H27)

なお、専門審査には、この専門分野の問題以外に、基礎免許状の問題もあります。

特別支援学校自立教科（理療）正答例

問題番号	正 答 例			
例 1	(1)	横足根関節 または、ショパール関節		
	(2)	腓腹筋		
	(3)	二尖弁と僧帽弁		
	(4)	気管分岐部		
例 2	(a)	テ		
	(b)	イ		
	(c)	セ		
	(d)	オ		
	(e)	コ		
	(f)	エ		
	(g)	ク		
	(h)	タ		
	(i)	チ		
	(j)	ソ		
例 3	(1)	① 老年者 ② 1 秒率		
	(2)	③ γ-グロブリン		
	(3)	④ 脳塞栓症 ⑤ バセドウ病		
例 4	(1)	(正答例) 垂れ足になっているときこれを代償するように足を高く上げつま先から投げ出すようにして歩く。		
	(2)	灰白脊髄炎（ポリオ），腓骨神経麻痺， 前脛骨筋麻痺		
例 5	風市 伏兔 犢鼻 外膝眼 脚三里 上巨虚 下巨虚 懸鐘（または絶骨）			
例 6	(豹文刺) 心			
	(関 刺) 肝			
	(合谷刺) 脾			
	(半 刺) 肺			
例 7	肝 虚 (自経) 曲泉 (母経) 陰谷			
	脾 虚 (自経) 大都 (母経) 少府			
	肺 虚 (自経) 太淵 (母経) 太白			
	小腸虚 (自経) 前谷 (剋経) 通谷			
	膀胱虚 (自経) 委中 (剋経) 三里			
	胃 虚 (自経) 陷谷 (剋経) 臨泣			
例 8	a	タ	b	ツ
	c	コ	d	セ
	e	ス	f	ア
	g	エ	h	ト
	i	キ	j	ウ

